snow peak
outdoor lifestyle creator since1958

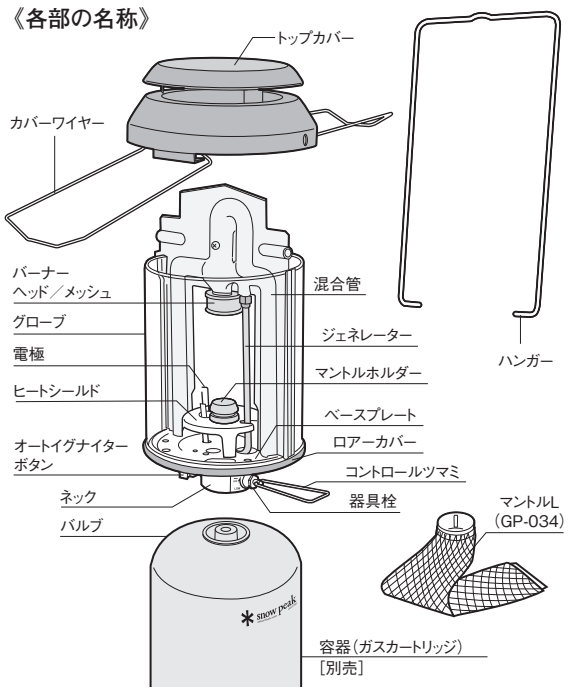
取扱説明書：Ver 2.10

GL-300A
屋外専用 ギガパワーBF ランタン オートイグナイター付き

この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、アウトドア用に開発された屋外専用のランタンです。ご使用中は大量の酸素を必要としますので、屋内や車内、テント内では絶対に使用しないでください。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。使用中または使用直後は器具が熱くなっていますので火傷には十分注意してください。また、お子様が手を触れないようにご注意ください。スノーピークの燃焼器具は全数燃焼テストを実施して出荷しております。燃焼テストにより混合管が若干変色していますがご了承ください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

注意：オートイグナイター（着火装置）は高所や低温時に着火しにくいときがあります。山行やキャンプの際は必ず柄の長いライターなどを携行してください。

《各部の名称》



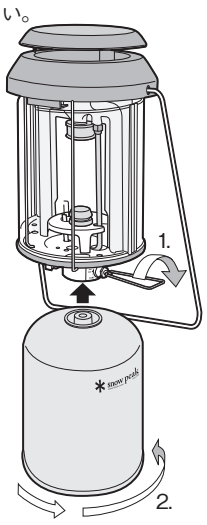
仕　様

品　名	カセットランタン（直結式）
型　式	GL-300A（オートイグナイター付き）
外形寸法	Φ130×H235mm
重　量	1,025g
ガス消費量	80g／h
出　力	170W 相当
専用容器	容器はスノーピーク専用容器ギガパワーガスプロイソ、又は、イソをご使用ください。
専用マントル	GP-034
原産国	日本

●ガス消費量及び出力は当社実験室にて室温約25℃、GP-250GRガスカートリッジを使用したデータです。
●容器は上の表の、Snow Peak 専用容器のみをお使いください。

容器（ガスカートリッジ）の取り付け方

1. 器具栓ツマミを正面からみて時計回転方向（右回転）に回し、器具栓が完全に閉まっていることを確認してください。
2. 容器を水平にして、容器と器具栓のねじ部の軸線を合わせてください。次に容器を（下から見て）時計回転方向（右回転）にゆっくりとねじ込み、自然に止まるよりやや強くねじ込んでください。
3. 接触部からガスが漏れていないことを音や匂いで確認してください。



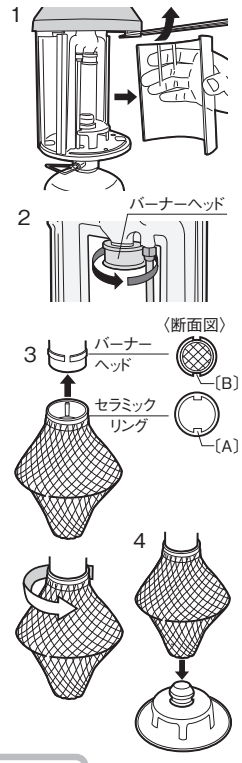
警告：容器を取り付ける際は、必ず器具栓のねじ部並びにOリングに異常が無いことを確認してください。異常が認められたときは容器を取り付けないでください。

注意：容器の取り付け、取り外しの際は少量のガスが漏れることがあります。火気のあるところや、換気の悪いところでは容器の着脱をしないでください。

グローブ・マントルの取り付け方

ガスカートリッジを取りつけて水平の状態で行ってください。

1. 本体のカバーワイヤーを跳ね上げ、グローブを外します。
2. マントルを取り付ける前に、バーナーヘッドが緩んでいないことを確認してください。緩んでいた場合は、バーナーヘッドを時計回りに増し締めしてください。
3. 付属のマントルのセラミックリング内面凸〔A〕を バーナーヘッド凹〔B〕に合わせて差込み、時計回りに約90度回転させて固定させます。
4. セラミックリング側を固定後、マントル下部の穴をヒートシールド上のマントルホルダーの溝までかぶせてください。
5. ネジレがないようにマントルの形を整え、上下を確実に固定させます。このとき、電極の先端がマントルにひっかからないようにご注意ください。
6. 形が整ったらガスを少量噴出させ、柄の長いライターなどでガスに点火しながらマントルを灰化させてください。炎がマントル下部に及ばない時はガスの噴出量を増やしてマントル全体が白く灰化するまで燃焼させてください。

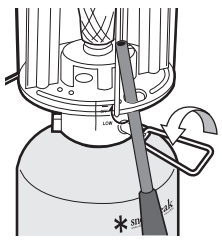


注意:カラ焼きは必ず野外で行ってください。又、マントル形成時に出る煙を吸い込まないように注意してください。焼いたマントルは壊れやすいので、強い衝撃を加えないように運搬してください。マントルは必ず専用のマントル（弊社品番GP-034）をご使用ください。またマントルは消耗品ですので、予備をご用意ください。

注意:着火する前に必ずマントルをチェックしてください。マントルに穴が開いていたり、割れていると、穴の開いた部分から炎が噴き出し、グローブを破損させるなど故障の原因になります。必ず新しいマントルと取り替えてご使用ください。

操作の仕方

《点火方法》



1. 点火方法
コントロールツマミを反時計回転方向（左回転）にゆっくり回して少量のガスを噴出させ、オートイグナイターのボタンを数回点火するまで連続して押します。必ず火が着いたことを確認してください。柄の長いライターなどを使う場合は、前もってマントルの近くで火を付けておいてからコントロールツマミを反時計回転方向（左回転）に回して点火してください。

注意:素早く点火できない時は、コントロールツマミを一旦、時計回転方向（右回転）に回し、ガスの噴出を止め、15〜20秒ほど時間をおいてから再度やり直してください。そのまま続けると噴出したガスに引火して小爆発の危険があります。

注意:点火すると同時に勢い良く炎が上がる場合があります。火傷を負う可能性がありますので柄の長いライターを使用し、絶対に顔や頭をランタンの真上に出さないでください。

2. 照度の調節方法
コントロールツマミを反時計回転方向（左回転）に回すと照度が上がります。時計回転方向（右回転）に回すと徐々に暗くなり最後に消火されます。

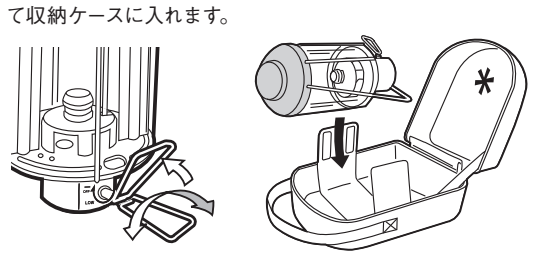
3. 消火方法
コントロールツマミを時計回転方向一杯に回し完全に消火します。確実に火が消えたことを確認してください。消火してもしばらくの間は本体やガスカートリッジが熱くなっています、火傷の恐れがありますので直接触れないでください。

容器（ガスカートリッジ）の取り外し方

1. 使用直後は器具が高温になっています。十分に冷めてから容器を取り外します。
2. 容器を水平にし、取り付け時とは反対の方向に容器を回して取り外してください。容器には必ずキャップを取り付けて保管してください。

収納の仕方

1. コントロールツマミとハンガーが上手く収まるように回転させて収納ケースに入れます。



注意:ケースに収納する時は本体が完全に冷えている事を確認してください。熱いまま収納しますとケースを溶かしたり、破損の原因ばかりではなく火災の危険があります。

使用上の注意

1. 照明以外の目的には使用しないでください。
2. 安定した水平な場所に置くか、上方に1.5m、周囲に50cm以内に燃えやすいものが無い場所に吊るしてご使用ください。
3. 使用前にガスカートリッジとの接合部にゴミやホコリなど異物が付着していない事を確認してください。目づまりの原因になります。
4. 使用中は時々燃焼状態が正常かどうか確認をしてください。
5. 気温や気圧、カートリッジの温度によりガス圧が変化して燃焼具合（照度）が変わります。
6. ガスカートリッジは40℃以下の湿気の少ない、日光のあたらない幼児の手の届かない場所に保管してください。
7. 風の強い時に吊るしてのご使用や、タープの下でのご使用はしないでください。強風で本体が揺れると炎が出たり、ランタンが落下したり大変危険です。
8. 使用中に異常燃焼が起こった場合は速やかに消火し、使用を中止し、お買い求め頂きました販売店か弊社ユーザーサービスまで修理をご依頼ください。
9. 使用中に高温になる部分は焼けて変色しますが、使用上問題ありません。
10. 使用中や使用直後の高温になったグローブに雨などがあたると、グローブが割れる恐れがあります。雨水等をあてないでください。
11. ランタンを濡れたままにしないでください。サビの発生の原因になります。
12. 使用中や使用直後は本体が高温になります。火傷を負う可能性がありますのでご注意してください。
13. 使用後は本体に付着した汚れを落としてください。特に燃焼部はいつも清潔に保ってください。燃焼部に虫の死骸やゴミ等がありますと本来の性能が出なかったり、異常燃焼の原因につながります。

点検・手入れ方法

使用前、使用後の点検・手入れは必ず行ってください。

1. 使用前にガスカートリッジとの接合部のネジ、Oリング、シールパッキンに異常が無いか必ず確認してください。損傷や磨耗がある場合は、お買い求め頂きました販売店か弊社ユーザーサービスまで修理をご依頼ください。
2. コントロールツマミが時計回転方向一杯に回してガスが完全に遮断するか確認してください。
3. オートイグナイターのボタンを押して確実に火花が飛んでいるか確認してください。
4. バーナーヘッド部やメッシュにカーボンや酸化物が付着したら、柔らかなブラシ等で取り除いてください。
5. 点火前には必ずマントルのヒビ、割れ、穴等が無い事を確認してください。グローブ等を破損させる危険性があります。破損したマントルは速やかに交換してください。セラミックリングを取り外すときは時計回りに回して取り外してください。バーナーヘッドが外れる恐れがあります。
6. グローブにヒビ、割れが無いか点火の前に必ず確認してください。そのまま点火しますと使用中にグローブが破損し大変危険です。速やかに新品と交換してください。
7. 本体を落下させたり、強い衝撃が加わった時は、外観に問題がない場合でも、販売店または弊社ユーザーサービスまで点検を依頼してください。
8. 修理は必ず販売店又は弊社ユーザーサービスまでご連絡ください。お客様による修理は危険ですので絶対にしないでください。
9. 本製品の改造は絶対にお止めください。また改造後の修理等は受けられません。

故障・異常の見分け方と処置の仕方

症状＼原因	専用容器（ガスカートリッジ）を使用していない	容器（ガスカートリッジ）のネジの異常	器具栓の故障	器具の取り付け不十分	スピンドル不良	容器（ガスカートリッジ）の異常	バーナー部の目づまり	ノズルの目づまり
専用容器（ガスカートリッジ）が取り付けられない	○	○	○					
ガスが漏れる			○	○	○	○		
点火しない						○	○	○
火力が弱い						○	○	○
炎が不揃い							○	○
使用中に消える						○	○	○
消火しない			○		○			
処置方法	スノーピーク専用容器（ガスカートリッジ）を使用する	新しい容器（ガスカートリッジ）と交換する	点検修理を依頼する	容器（ガスカートリッジ）の取り付け確認	点検修理を依頼する	新しい容器（ガスカートリッジ）と交換する	壊さない様に布で掃除し汚れをおとす	点検修理を依頼する

アフターサービス

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は、弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので、予めご了承ください。
1. 素材の経年劣化による損害など製品の寿命 / 2. 改造及び粗雑な取り扱いによる故障 / 3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障 / 4. 不測の事故による製品の故障 / 5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障 / 6. ゴミやさびによる故障 / 7. 分解したことによる不具合の発生または破損 / 8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合 / 9. 摩耗によるパーツの変化およびそれによる故障 / 10. 他社製品とのくみ合わせによる故障

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
スノーピークユーザーサービス
0120-010-660（9:00〜17:00）
Email:userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel.0256-46-5858 Fax.0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

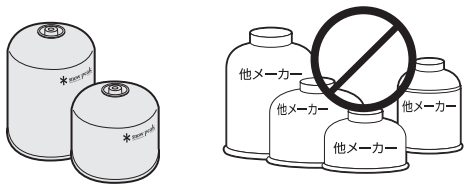
⚠ 安全上の注意事項

スノーピークガス器具・カートリッジをご使用になるための重要注意事項が説明されています。よくお読みください。

ご使用前の注意

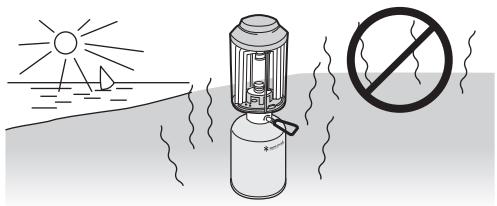
⚠ 警　告

●この器具には Snow Peak 専用容器（ガスカートリッジ）をご使用ください。その他の容器（ガスカートリッジ）は絶対に使用しないでください。



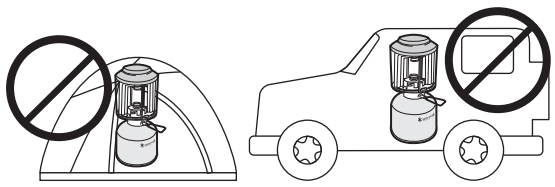
■　理由　■専用以外の容器はバルブ形状、ノズル太さなど規格が異なります。この基本設計の違いでガス漏れが発生し引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。

●夏場など、焼けて熱い砂浜や川原の石の上、あるいは舗装路面上では使用および放置をしないでください。

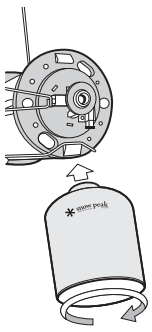


■　理由　■直射日光を受けた砂浜や川原の石あるいは舗装路面上は高温になっています。その上にガスカートリッジを放置したり、器具を使用するとガスカートリッジが過熱され内圧が急激に上昇し異常燃焼をしたり爆発することがあります。

●この器具は屋外専用です。テントの中や車中、屋内では絶対に使用しないでください。

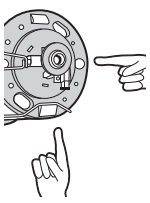


■　理由　■この器具は屋外専用に設計されています。使用中は酸素を大量に消費します。限られた空間での使用は酸欠、一酸化炭素中毒になることがあり、また火災の危険もあります。



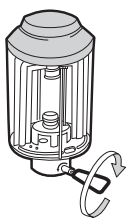
●ガスカートリッジの装着は器具を垂直に立てた状態で行い、決して締めすぎないでください。

■　理由　■新しい状態のガスカートリッジは液状のガスが上部まで入っています。斜めに傾いた状態で取り付けると液状のガスが勢いよく噴出することがあり大変危険です。周辺に火気がないことを確かめ、垂直に立てて装着してください。カートリッジと器具を接続するネジは大変重要な部分です。過大な力で締めこんだり、斜めにねじ込んだりするとガス漏れの原因になります。



●カートリッジ接続部分のゴム製のOリングはご使用の都度点検し、摩耗や損傷があるときは新品と交換してください。

■　理由　■ガスカートリッジの取り付け、取り外しでOリングが摩耗します。また、ゴム製のOリングは使用しなくても劣化します。劣化したり損傷したOリングを使用するとガス漏れの原因となります。



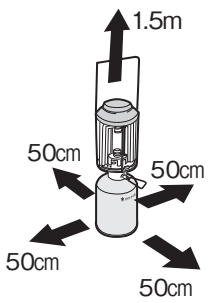
●ガスカートリッジを接続する前には、必ず器具栓ツマミを時計回転方向に回し器具栓が閉じていることを確認してください。

■　理由　■収納時や運搬時に器具栓が開いてしまうことがあります。ガスカートリッジ接続の際は器具栓が閉まっていることを確認してください。

⚠ 注　意

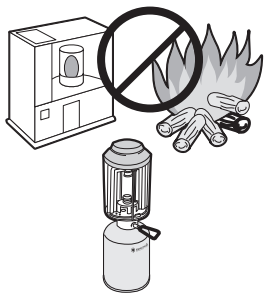
●燃えやすい物から上は1.5m以上、周囲は50cm以上離してください。

■　理由　■風向きにより炎の熱は横方向や下方に流れます。上方には強く伝わりますので火災にならないように燃えやすいものは十分な距離を保ってください。



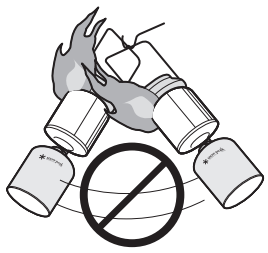
ご使用中の注意

⚠ 警　告



●ヒーターや焚火など、他の熱源があるところでは使用しないでください。

■　理由　■他の熱源によりガスカートリッジが異常加熱し、カートリッジの内圧が急激に上昇し爆発の危険があります。

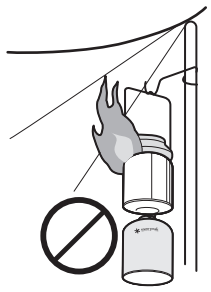


●傾けたまま使用したり、振ったりしないでください。また、ハンガーを持つ場合、高温になりますので素手で作業しないでください。必ず厚手の手袋をお使いください。

■　理由　■傾けたり、振ったりすると異常に炎が大きく出る事があり、手に火傷を負ったりする危険があります。絶対に振ったり、傾けたりしないでください。

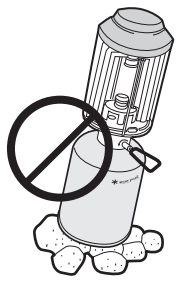
●風の強い時にランタンハンガーに掛けての使用や、タープの下での使用は絶対にしないでください。

■　理由　■ランタンが落下したり、ゆれて炎が出たり大変危険です。



●水平で安定した場所でお使いください。

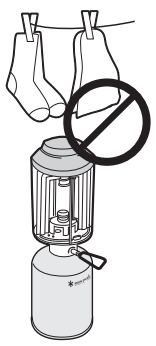
■　理由　■傾斜していたり不安定な場所で使用すると、転倒し火傷や火災の危険があります。



⚠ 注　意

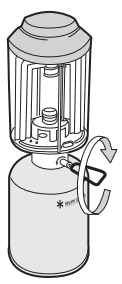
●照明以外の目的に使用しないでください。

■　理由　■暖房や衣類の乾燥など、照明以外の使用は火災や火傷、酸欠など思わぬ事故につながる場合があります。



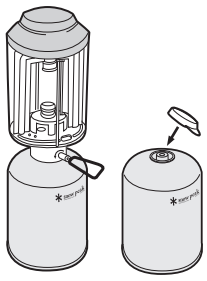
●ご使用後は、器具栓ツマミを時計回転方向（右回転）に最後まで閉めてください。

■　理由　■器具栓ツマミを最後まで閉めていないとガスが少量ずつ流れ出て、引火する危険があります。



保管と廃棄の注意

⚠ 警　告



●長時間器具を使わないときはガスカートリッジを取り外してください。器具は付属の収納ケースに入れ、ガスカートリッジにはキャップを取り付けて保管してください。

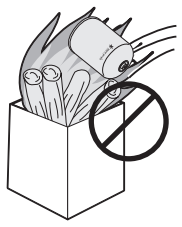
■　理由　■器具栓が不用意に開きガスが漏れることがあります。器具並びにガスカートリッジの接続部分にゴミやホコリが付着すると故障の原因になります。

●ガスカートリッジは40度以下の場所で保管してください。

■　理由　■外気温の上昇とともにガスカートリッジの内圧も上昇します。40度を超えるところや、直射日光の当たるところには保管しないでください。

●ガスカートリッジは完全に使い終わってから他のゴミと区別して捨ててください。

■　理由　■ガス漏れが発生し、引火や火災を起こす危険があります。



●空のガスカートリッジでも火の中に投じたり他の熱源のそばに置かないでください。

■　理由　■空になったガスカートリッジでも、微量のガスが残っています。火の中に投じたり他の熱源のそばに置くと内圧が上昇し爆発することがあります。

●お子様の手の届かないところに保管してください。

■　理由　■お子様に危険が及ばないように、器具やガスカートリッジはお子様の手の届かないところに保管してください。

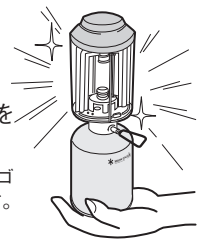
⚠ 注　意

●ガスカートリッジを時々点検してください。

■　理由　■外観の傷やへこみ、錆などが発生しているとガス漏れなどの危険がありますので使用しないでください。

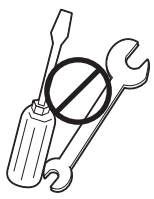
●使用後は点検・清掃をして、器具をケースに入れ保管しましょう。

■　理由　■ランタンに付着した水分・ホコリやゴミが目づまりやサビを起し故障の原因となります。次回問題が出ない様に点検・清掃をしましょう。



その他の注意

⚠ 警　告

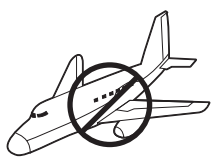


●お客様による修理や改造は絕対にしないでください。

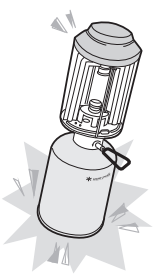
■　理由　■器具やカートリッジは精密に作られています。改造は性能低下になるばかりか不完全燃焼やガス漏れの原因になることがあります。
修理に関しては、販売店または弊社へお問い合わせください。

●ガスカートリッジは航空機に持ち込めません。

■　理由　■法律により、ガスカートリッジを航空機に持ち込むことはできません。



⚠ 注　意



●本体を落下させたり、強い衝撃が加わった時は、外観に問題がない場合でも、販売店または弊社ユーザーサービスまで点検を依頼してください。

株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel.0256-46-5858 Fax.0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp